

2021年度 専門課程 授業計画表

横浜デザイン学院

学科・専攻区分	ファッション科	授業科目名	アパレルCAD II	
担当教員	金森 明良	年次	2	
		コマ数	2	60時間
担当教員経歴	ISSEY MIYAKE にてパターンナーでコレクション経験などを経て、コモードデザイン事務所を設立。テレビCMの衣装担当、国際的なファッションフェアの講師などをつとめながら、数々の専門学校や大学などの非常勤講師として活躍し、東レ3DCADプレゼンター講演なども経験			
授業の概要	アパレルCAD I で修得した基本操作を発展 高度なCAD操作とテクニックでパターンの展開で工業パターンを作成 習得力と応用力を養う			
到達目標	CADでパターン作成 パターンメイキングの効率化 工業パターンを作成 デザインに沿ったパターン作成が出来る			
授業方法	パソコン実技実習			
授業計画				コマ数
概要	授業目的の説明			2
アイテムの展開 演習	原型身頃展開バリエーション			4
	原型スカート展開バリエーション			4
	原型パンツ展開バリエーション			4
アイテム課題 演習	ジャケット製図 身頃			8
	ジャケット製図 袖 衿			6
	ジャケット製図 裏身頃 裏袖			6
	工業用パターン作成 仕様書作成 プリントアウト			8
	最終チェックと課題			2
イベント課題 演習	イベントデザインパターン応用			6
	パターン展開作成			4
	パターン完成と課題			2
	課題実技テスト			4
成績評価の方法	出席率	課題/試験	修業力(授業全般)	修業力(企業課題/校外活動)
	20%	40%	30%	10%
教科書・参考書	文化服飾造形講座 応用編 (高級素材 特殊素材) アパレル生産講座CADパターンメイキング			
備考	USBメモリー要			

2021年度 専門課程 授業計画表

横浜デザイン学院

学科・専攻区分	ファッション科	授業科目名	アパレル研究 II	
担当教員	青木 佳美	年次	2	
		コマ数	4	132時間
担当教員経歴	ファッション系専門学校を卒業後、専門店で販売職で入社。販売コンテストで準優勝後にバイヤー、マーチャンダイザーとキャリアアップを積み、後に店長を務めたショップで1坪の平場で年間1億円を売り上げる経験をする。販売、マネジメント、MDの経験を活かし独立、コンサルタント会社業務請負、アパレル会社の企業研修、専門学校非常勤講師を経て現職			
授業の概要	1年次に学んだショップに関わるヒューマンスキルを、「お客様の心を魅つける接客」につなげられる、ロールプレイングやフィールド調査を行う。 お客様の期待の一步先を想像し提案のできる、カラースキル、コーディネートスキルのトレーニングの実施。			
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ホスピタリティマインドの接客を基礎習得 ・アパレルにおいて、パーソナルカラーを理解したお勧めや、体型別、シチュエーション別のコーディネート提案ができる ・検定を受験するのみでなく、接客の中で使用できる技術を身に付ける 			
授業方法	<ul style="list-style-type: none"> ・講義で学んだ知識を、グループワークやロールプレイング、能動的に学んでいく ・市場調査を取り入れながらプロの現場を観て学び、教室での模擬体験に落とし込む 			
授業計画			コマ数	
概要	授業目的の説明			2
VMD	フィールド調査 VP 売り場構築方法			8
	ディスプレイ演習			6
	学内ショップにて、実践			8
年間計画	A/W、S/S 商品計画の進め方			6
	トレンド情報収集の方法と実践			8
	ポジショニングの理解と競合他社分類			6
	競合他社のリサーチ			6
	集客が見込める企画とは			8
	年間商品計画 作成			8
クレーム対応	クレームの種類と事例			4
	パターン別対応・ロールプレイング			8
お直し	パターン、縫製手順を理解したお直し対応とは			4
	お直し実践 ロールプレイング			4
販売技術	接客におけるフィールド調査とは			2
	アパレルショップの接客 フィールド調査、分析、グループ発表			18
	接客台本の作成			6
店舗実務	店頭・ストックの商品整理の重要性			4
	係数管理			8
	クレームの種類と事例・パターン別対応・ロールプレイング			4
試験	前期 ・ 後期			4
成績評価の方法	出席率	課題/試験	修業力(授業全般)	修業力(企業課題/校外活動)
	20%	50%	30%	0%
教科書・参考書	・「はじめてのパーソナルカラー」著書:トミヤママチコ 出版社:学研			
備考				

2021年度 専門課程 授業計画表

横浜デザイン学院

学科・専攻区分	ファッション科		授業科目名	ソーイングⅡ	
担当教員	田崎 智恵子		年次	2	
			コマ数	4	124時間
担当教員経歴	専門学校卒業、師範科課程修了。オートクチュール技法を中心とした多種多様な技術を習得した後、ファッション系専門学校教員となる。その後、NHK教育テレビ「趣味悠々」レギュラー出演を勤めるなどフリーランスとして成人学習事業の講座やファッション全般(ドレス・アクセサリー・ファッショングッズ等)のオーダーメイド、デザイン、製作及び製作指導を行っている				
授業の概要	衣服形態、色、柄、素材等を総合的に判断し、素材の特性を活かすディテール、シルエットにこだわった独創性のあるデザイン、バリエーションの発想を学び、表現力、製作技法を習得する				
到達目標	ファッションデザイン、コーディネートに大切なバランス感覚を養い、体型に合ったデザイン、シルエット、素材の選定、補正方法ならびに高度な製作技法を習得する				
授業方法	課題の説明、製作実習を中心に行い、取り扱いの難しい素材の知識を学び、仕様書を理解し製作技法を習得する				
授業計画				コマ数	
概要	授業目的の説明			2	
応用アイテム製作	テーラードスーツ デテール製作実習 ポケット6種類			6	
	テーラードスーツ製作実習 ①総裏仕立て、梳毛織物			8	
	テーラードスーツ製作実習 ②扱い方、縫製工程手順			8	
	テーラードスーツ製作実習 ③縫製方法、プレス法			8	
	テーラードスーツ製作実習 ④パンツ、スカート製作			4	
応用アイテム製作	プリーツ加工ボトム製作実習 ポリエステル素材、プリーツ加工			4	
	ショー衣装製作実習 ①トワル組立て、チェック、フィッティング			4	
	ショー衣装製作実習 ②縫製工程、縫製方法			4	
	トレンチコート製作実習 ①背抜き仕立て、パイピング始末			6	
	トレンチコート製作実習 ②デザイン、縫製工程手順			4	
応用アイテム製作	トレンチコート製作実習 ③バイアステープ製作、パイピング			6	
	トレンチコート製作実習 ④縫製方法、プレス法			8	
表現製作技術	フォーマルウェア製作実習 ①イブニングドレス、カクテルドレス			6	
	フォーマルウェア製作実習 ②ウェディングドレス、フォーマルスーツ等			8	
表現製作技術	フォーマルウェア製作実習 ③デザイン、フォーマル素材について			8	
	フォーマルウェア製作実習 ④扱い方、縫製工程手順			10	
	フォーマルウェア製作実習 ⑤縫製方法、刺しゅう技法			12	
	フォーマルウェア製作実習 ⑥プレス法			6	
試験	前期			2	
成績評価の方法	出席率	課題/試験	修業力(授業全般)	修業力(企業課題/校外活動)	
	20%	60%	10%	10%	
教科書・参考書	・「ウェディングとフォーマルドレスの縫い方」 発行人 志村昌也 発行所 ブティック社 ・「アパレルソーイング用語集」 発行人 渡邊久晏 発行所 株式会社チャネラー ・講師作成の資料等を配布				
備考					

2021年度 専門課程 授業計画表

横浜デザイン学院

学科・専攻区分	ファッション科	授業科目名	ドレーピングⅡ	
担当教員	寺田 浩	年次	2	
		コマ数	4	132時間
担当教員経歴	大倉株式会社にてデザイナー兼パタンナー、株式会社JUNIにてパタンナー、ケイタマルヤマにてパタンナー、レリアンのサプライヤーにてパタンナー、現在も大手GMSにて、パタンナーとしてパターン作成及び品質管理に従事しております。			
授業の概要	モノを見れる目を育てパターン作成フィッティング修正が出来る人に育成 CAD関係は益々勢いを増して3Dシステムが、普及し始めました。しかしCADを理解し活用する為には、基本的なパターンメイキングと布地の地の目の関連付けとドレーピングから得られる布地の動き等の知識と技術の有無が益々重要になります。以上を理解し、プロフェッショナルになれる基礎～初級レベルを理解し実践できる人に育てる授業です。			
到達目標	ドレーピングの基礎～初中級の習得 服造の初中級レベルの習得			
授業方法	ドレーピングによる、ドレス原型の作成、スカート、ブラウス、シャツ、ジャケット、ワンピース、バイヤスドレス、コートのドレーピング、実習			
授業計画			コマ数	
概要	授業目的の説明			2
原型	ユルミ無しドレス原型の、ドレーピング			8
	ユルミ無しドレス原型に、ユルミを入れるパターンメイキング			8
	ユルミ入り原型のチェック 袖つくり袖付け			8
アイテム別	フレアースカートのドレーピング			6
	ブラウスのドレーピング			10
	4面パネルライン原型のドレーピング			10
	ドレスのドレーピング			12
	テーラードジャケットのドレーピング			14
	コートのドレーピング			12
	バイヤスワンピースのドレーピング			10
	ブラジャーカットのドレス			10
卒業課題	自由研究			14
試験	前期期末試験			4
	後期期末試験			4
成績評価の方法	出席率	課題/試験	修業力(授業全般)	修業力(企業課題/校外活動)
	20%	50%	30%	0%
教科書・参考書	参考書等は特に無し。*個人資料			
備考				

2021年度 専門課程 授業計画表

横浜デザイン学院

学科・専攻区分	ファッション科	授業科目名	パターンメイキング II	
担当教員	金森 明良	年次	2	
		コマ数	2	60時間
担当教員経歴	ISSEY MIYAKE にてパターンナーでコレクション経験などを経て、コモードデザイン事務所を設立。テレビCMの衣装担当、国際的なファッションフェアの講師などをつとめながら、数々の専門学校や大学などの非常勤講師として活躍し、東レ3DCADプレゼンター講演なども経験			
授業の概要	平面パターンと立体パターンのパターンメイキング 既製服における基礎知識 パターンの完成度と感性度の追求			
到達目標	各自サイズデザインによるパターンメイキング実習 各アイテムでの仮縫いと修正と方法学習 立体造形研究			
授業方法	講義と実技実習			
授業計画			コマ数	
概要	授業目的の説明			2
フォーマル 工業パターン 演習	ジャケット製図 身頃			6
	ジャケット製図 2枚袖			4
	ジャケット製図 衿 見返し展開			4
	ジャケット製図 裏地 身頃 袖			6
	トワル作成			4
	トワルチェックと修正			4
	工業パターン作成			4
	仕様書作成と課題			6
イベント衣装制作 演習	イベント衣装製作 考案			2
	衣装パターン作成			6
	パターン トワル作成 チェック			6
	パターン修正			4
	イベントファッションショー衣装最終修正			2
成績評価の方法	出席率	課題/試験	修業力(授業全般)	修業力(企業課題/校外活動)
	20%	30%	40%	10%
教科書・参考書	文化服飾造形講座 スカート ブラウス ジャケット コート 応用編 (高級素材 特殊素材)			
備考				

2021年度 専門課程 授業計画表

横浜デザイン学院

学科・専攻区分	ファッション科	授業科目名	ファッションマーケティング I	
担当教員	吉田 寿	年次	2	
		コマ数	2	60時間
担当教員経歴	アパレルメーカーにて、商品企画から販売まで一貫した運営を担い、担当商品の売上げNO.1表彰となる。鐘紡ディオールライセンス事業部の最高級クラス「C.ディオール プティック」、プレタポルテの企画職に携わり、ヨーロッパへの生地買い付けから企画、販売を経験後に独立。婦人服・雑貨を取り扱い、素材買い付けを活かし、独立後も輸入卸売業としてフランスやイタリアの国際素材展で仕入れを行うなどアパレル業界での豊富な経験がある。			
授業の概要	ひらめいたアイデアを「誰に」「何処で」「いくらで」販売するかイメージしながら売り方のコツを主する。何故マーケティングが必要なのか？の疑問を紐解きモノづくり最終的に販売に繋がるような考え方を学ぶ。マーケティングリサーチ等でデータを集める方法を知り、それを作品制作に使えるようにする。			
到達目標	AIDMAの法則で消費者の消費行動の基本を知る。(市価調で現実を把握する「5つの脅威」の競争相手を整理すれば市場と業界構造がわかる。自分のつくる製品の標的市場をリサーチ(結果は作った作品を幾ら売れるか推測してみよう。)			
授業方法	机上で学ぶ知識(語彙・戦略・ターゲット・売れる仕組みetc)を良く理解する。テキスト(ぐるっとマーケティング)マーケティングリサーチを通して知る「顧客の満足」「売り方、見せ方」をインプットする			
授業計画			コマ数	
概要	授業目的の説明			2
何故マーケティングが必要なのか	所変われば、売れる品も変わる(都心、地方、観光地等、で売れる物)、			2
	「安ければ売れる」というものではない(大切なことは顧客の「満足」)			2
	機能で売るか、アイデアで売るか(顧客は品質と価格だけで選んでる訳ではない)			2
	商売は「押し売り、引いたり」がポイント(プッシュ作戦・プル作戦)			2
具体的にマーケティングとは	売れる仕組みを作る(マーケティングは顧客の満足と企業の満足がカギ)			2
	マーケティングには「4つのP」がある			4
	セリング(販売活動)とマーケティングの違い			4
	「ターゲット」を絞り込もう(市場の全てを狙っても、成功するわけがない)			4
	「マーケティング・ミックス」が基本です			4
	まず「市場」を把握する事から始めよう(消費者アンケートが市場調査ではない)			2
顧客のことを知ろう	「欲求5段階説」でお客様のニーズがつかめる			4
	「ニーズ」とは一体何だろう			6
	「顧客満足」って要するにどういうこと			4
	「ブランド」とは一体何なの			4
	消費者の購買行動がわかる「AIDMA」の法則			4
マーケティングリサーチのやり方	公表された「2次データ」で適切なデータを探し、足りない分は自分たちでデータを収集(1次データ)			4
試験	前期・後期			4
成績評価の方法	出席率	課題/試験	修業力(授業全般)	修業力(企業課題/校外活動)
	30%	50%	20%	0%
教科書・参考書	[ぐるっと！マーケティング]、マーケティングの基本と常識(プリント)			
備考				

2021年度 専門課程 授業計画表

横浜デザイン学院

学科・専攻区分	ファッション科	授業科目名	ファッション表現演習	
担当教員	田崎 智恵子	年次	2	
		コマ数	4	124時間
担当教員経歴	専門学校卒業、師範科課程修了。オートクチュール技法を中心とした多種多様な技術を習得した後、ファッション系専門学校教員となる。その後、NHK教育テレビ「趣味悠々」レギュラー出演を勤めるなどフリーランスとして成人学習事業の講座やファッション全般(ドレス・アクセサリ・ファッショングッズ等)のオーダーメイド、デザイン、製作及び製作指導を行っている			
授業の概要	トレンドを意識し、ファッション商品知識、品質管理、衣服の手入れ方法、体型別による色および柄、素材の選定、トータルファッションの提案ならびに自己体型分析と自己表現手法を習得する			
到達目標	素材の特性を理解し、体型別ディテールデザインの構想およびデザインの変化に対応可能な知識を深めることによりスタイリングの提案が出来ることを目標とする			
授業方法	講義ならびにグループワークを中心に行い課題テーマを設定し、ドレスコードの基本や衣服形態を理解する衣服からアクセサリ小物まで構想的に表現することを目指す			
授業計画			コマ数	
概要	授業目的の説明			2
ファッション表現	トータルコーディネートとは 小物、アクセサリ、靴			2
	体型によるコーディネート ①錯視効果 , テクスチャー・柄・色・構造線			6
	体型によるコーディネート ②体型別補正方法			6
	体型によるコーディネート ③自己体型補正方法			4
	体型によるコーディネート ④素材別・柄・色素材シルエット比較			12
テキスタイル知識	素材の特徴 ①生地の快適性に関する性質の理解			4
	②扱い方、吸湿性、吸水性、透湿性			4
	③保湿性、官能特性、帯電性、燃焼性			4
	繊維の加工・種類 ①天然・動物・科学繊維 加工法			8
	繊維の加工・種類 ②柄物、無地			8
テキスタイル表現	アパレルデザインと生地の特徴 ①トップス、ボトムスのアイテムバリエーション			8
	アパレルデザインと生地の特徴 ②トップス、ボトムスのディテールバリエーション			8
	スタイリングバリエーション ①素材加工法と製作			16
	スタイリングバリエーション ②ディテールアイテム製作			10
	ファッション雑貨 小物のデザインバリエーション			4
商品知識	品質管理法、品質管理業務 ①洗濯表示・取り扱い絵表示②洗濯方法			4
	品質管理法、品質管理業務 ③シミ抜き、干し方④アイテム、素材別ケア方法			4
	品質管理法、品質管理業務 ⑤衣類の管理			4
	品質管理法、品質管理業務 ⑥保管方法			4
試験	前期			2
成績評価の方法	出席率	課題/試験	修業力(授業全般)	修業力(企業課題/校外活動)
	20%	60%	20%	0%
教科書・参考書	「ファッションデザイン、アーカイブ」 著者 高村是州 発行所 株式会社グラフィック社 「服地の基本がわかるテキスタイル事典」 発行者 田村正隆 発行所 株式会社ナツメ社 「服のポディーフィッター実践講座」 著者 児五千恵子 発行所 株式会社チャネラー ・講師作成の資料等を配布			
備考				

2021年度 専門課程 授業計画表

横浜デザイン学院

学科・専攻区分	ファッション科	授業科目名	ホームルーム	
担当教員	青木 佳美	年次	2	
		コマ数	2	62時間
担当教員経歴	ファッション系専門学校を卒業後、専門店で販売職で入社。販売コンテストで準優勝後にバイヤー、マーチャンダイザーとキャリアアップを積み、後に店長を務めたショップで1坪の平場で年間1億円を売り上げる経験をする。販売、マネジメント、MDの経験を活かし独立、コンサルタント会社業務請負、アパレル会社の企業研修、専門学校非常勤講師を経て現職			
授業の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・ファッション科授業で習得したスキルの確認や主体的な進路決定のために必要な知識と能力・態度を養う ・企業連携や行事による学科企画の準備をはじめ、必要な議論、活動を行う 			
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・就職活動に向けた自己分析をし、履歴書の作成 ・社会人としての一般常識やビジネスマナーを知る ・クラス内で議論、活動を行い、コミュニケーション能力を高める 			
授業方法	講義・実習で行う。コミュニケーションゲームやロールプレイングを交えて考え、動き、能動的に学ぶ			
授業計画				コマ数
概要	授業目的の説明			2
ビジネスマナー	・仕事とは何か、出勤と登校の違い			2
	・話し方・言葉遣い			4
	・態度・立ち振る舞い			4
	・仕事に取り組む姿勢			4
就職活動実習	・自己分析			4
	・自己の表現 可視化と文章化			6
	・グループワーク			4
	・企業リサーチ、フィールド調査			4
	・企業研究			4
企業連携・行事	・ファッション科企画 準備・製作			24
成績評価の方法	出席率	課題/試験	修業力(授業全般)	修業力(企業課題/校外活動)
	60%	10%	30%	0%
教科書・参考書	<ul style="list-style-type: none"> ・講師作成資料 ・(株)PHP研究所 社会人、やっていいこと・わるいこと 他 			
備考				

2021年度 専門課程 授業計画表

横浜デザイン学院

学科・専攻区分	ファッション科		授業科目名	企画・プレゼンテーション	
担当教員	平田 徳子		年次	2	
			コマ数	4	132時間
担当教員経歴	女子美術大学造形学部デザイン科卒業(最優秀賞受賞)、東京藝術大学大学院美術研究科デザイン専攻博士後期課程満期終了。美大予備校で東京藝大入試指導。University of Hertfordshire BA(Hons)へ留学、卒制ではコンセプトドレスを制作、卒論と作品でFirst Class Honours取得。卒業後ロンドンのAlexander McQueenで長期Internshipでパリコレの制作に貢献。帰国後は図案家、イラストレーターとして活動中。				
授業の概要	デザイナーとして必要なスキルであるドローイング力、パターンの理解力だけでなく、ブランディングやプレゼンテーションスキルを磨き、ファッション業界のリーダーとなるべく人材を実践的な指導により育てる。				
到達目標	緻密なリサーチから時代を意識したオリジナルのデザイン提案ができるようになる。自身のデザインをプレゼンテーションできるようになる。				
授業方法	コンペティターとの比較など企業を意識したリサーチを通して自己のオリジナルデザインを行う。				
授業計画				コマ数	
概要	授業目的の説明			2	
リサーチ	ブランド分析	人体基礎_復習:骨格、筋肉、顔、手足		8	
		スタイル画_復習		4	
		ブランドリサーチ1:ブランドリサーチ+オリジナルデザイン		8	
		ブランドリサーチ2:スタイル画		10	
		ブランドリサーチ3:ハンガーイラスト		4	
		ブランドリサーチ4:オリジナルデザイン提案		8	
		ブランドリサーチ5:オリジナルデザイン提案		6	
		ブランドリサーチ6:まとめ、プレゼンテーション		4	
応用	ブランディング基礎	オリジナルブランド立案1:ブランド名、イメージ決定		4	
		オリジナルブランド立案2:コンペティターリサーチ、価格帯リサーチ		4	
		オリジナルブランド立案3:オリジナル生地制作		6	
		オリジナルブランド立案4:ムードボード作成		10	
		オリジナルブランド立案5:スタイル画		8	
		12月予定の卒業制作展中間発表の企画書の制作		8	
		オリジナルブランド立案6:ハンガーイラスト		8	
		オリジナルブランド立案7:まとめ、プレゼンテーション		4	
	ブランディング応用	オリジナルスタイル提案1:テキスタイルプリントを利用したデザインの提		8	
		オリジナルスタイル提案2:スタイル画		8	
		オリジナルスタイル提案3:プリント柄作成		6	
		オリジナルスタイル提案2:ミマキエンジニアリング、テストプリント		4	
成績評価の方法	出席率	課題/試験	修業力(授業全般)	修業力(企業課題/校外活動)	
	30%	40%	30%	0%	
教科書・参考書	参考書等は特に無し。*個人資料				
備考					

2021年度 専門課程 授業計画表

横浜デザイン学院

学科・専攻区分	ファッション科	授業科目名	素材論Ⅱ	
担当教員	吉田 寿	年次	2	
		コマ数	2	60時間
担当教員経歴	アパレルメーカーにて、商品企画から販売まで一貫した運営を担い、担当商品の売上げNO.1表彰となる。鐘紡デウォールライセンス事業部の最高級クラス「C.デウォール プティック」、プレタポルテの企画職に携わり、ヨーロッパへの生地買い付けから企画、販売を経験後に独立。婦人服・雑貨を取り扱い、素材買い付けを活かし、独立後も輸入卸売業としてフランスやイタリアの国際素材展で仕入れを行うなどアパレル業界での豊富な経験がある。			
授業の概要	ひらめいたアイデアを具体化するに不可欠なマテリアルの知識を習得する。 二年次は主に化学繊維、レース、レザー、ファー(フェイク含む)などを中心に学ぶ。 更に布地の仕上げ加工等も知り素材選択に幅を広げる			
到達目標	素材名を聞いて即、直ぐ現物を想起できるようになる。 素材特性を把握し、想起したデザインを確実に再現する。 素材を見て、触れて、デザインを描けるようになる。			
授業方法	テキスト(アパレル辞典・テキスタイルブック)のサンプル等でタッチや素材感を覚える。 素材展(レザー展)、海外のアパレル展等の見学で、デザインと素材のハーモニーを学ぶ。 マーケットリサーチを通して、よく売れているアイテム及び素材・カラーなどを把握する。			
授業計画			コマ数	
概要	授業目的の説明			2
アパレル用素材に関しリアルとフェイクの違い	化学繊維の素材名と現物が一致するようトレーニングする(テキスト&プリント)			10
アパレルと素材	アパレルと素材企画/素材の重要性/素材に求められる品質(布地の種類・色・仕上げ加工他)			6
	レースの種類、天然レザーの見分け方、フェイク(レザーとファー)とリアルの相違を明確にする			6
	素材の仕上げ加工のバリエーションを知る。用途についても把握する			8
メイン又は付属で使用するレース	リーズナブルな物から高額品まであるレースの適格な用途を知る			6
	付加価値を高めるパーツレース利用方法を学ぶ			4
何故フェイク物が必要か	レザー、ファー共に「リアル」と「フェイク」がある現実を知り、その原因を知る			4
繊維製品の取扱い絵表示	改定された(国際標準規格)選択、取扱い絵表示等を把握する			6
レザー素材展	レザー素材展でレザーマテリアルのバリエーションを知り、オリジナリティ溢れるデザインを想起する			4
試験	前期・後期			4
成績評価の方法	出席率	課題/試験	修業力(授業全般)	修業力(企業課題/校外活動)
	30%	50%	20%	0%
教科書・参考書	アパレル素材論(プリント)、テキスタイル辞典			
備考				

2021年度 専門課程 授業計画表

横浜デザイン学院

学科・専攻区分	ファッション科	授業科目名	美術演習Ⅱクラフト	
担当教員	田崎 智恵子	年次	2	
		コマ数	6	180時間
担当教員経歴	専門学校卒業、師範科課程修了。オートクチュール技法を中心とした多種多様な技術を習得した後、ファッション系専門学校教員となる。その後、NHK教育テレビ「趣味悠々」レギュラー出演を勤めるなどフリーランスとして成人学習事業の講座やファッション全般(ドレス・アクセサリー・ファッショングッズ等)のオーダーメイド、デザイン、製作及び製作指導を行っている			
授業の概要	ファッションにおけるトータルコーディネート提案とデザイン性の高いファッション雑貨(アクセサリー、レザークラフト、バッグ)の企画、デザイン、素材選定、質の良いパターン作成ならびに高度な製作技術を習得する			
到達目標	観察力、リサーチ、分析力、コミュニケーション能力を身につけ、企業連携ではショップの立地を考慮しニーズに合う商品の提案、原価ならびに売価の設定、商品の製作～納品までの流れを学び運営方法を体験する			
授業方法	講義・製作実習を中心に多種多様な素材・用具を用いて細密な製作技法を身につけることを目指す			
授業計画				コマ数
概要	授業目的の説明			2
ワイヤーアート デザイン 技術	ファランジリング 道具・用具の扱い方、デザイン、製作			8
	ディップアート ワイヤー扱い方、デザイン、製作、着色			8
	ワイヤーアートモチーフ ①ワイヤー扱い方、デザイン、製作			8
	ワイヤーアートモチーフ ②デザイン、製作			10
ファッション雑貨 製作 Part I	アクセサリー(リング、ピアス、イヤリング、チャーム等)			12
	デザイン、製作、タグ製作、納品書、商品管理			8
	価格設定法、ラッピング、梱包、納品			8
	染色 手描き染め、タイダイ染め、浸染 等			10
レザークラフト 製作	ヌメ革を使用したバッグ、ウォレット バーニング、パンチング、スタンピング			20
	カービング技法、デザイン、製作			36
シルバー アクセサリー 製作	立体造形アクセサリー ①(シリンジタイプ粘土 使用)			10
	立体造形アクセサリー ②(リング、ピアス 等)			8
ファッション雑貨 製作 Part II	ネクタイ デザイン、製作			8
	フォーマルグッズ デザイン、製作			12
	水引きアート デザイン、製作			8
試験	前期			4
成績評価の方法	出席率	課題/試験	修業力(授業全般)	修業力(企業課題/校外活動)
	20%	50%	10%	20%
教科書・参考書	・「はじめてのレザーカービング」(株)スタジオタッククリエイティブ ・「はじめてのワイヤーデザインジュエリー」 著者 塚本ミカ 発行所 株式会社日東書院本社 ・「革の技法」 著者 クラフト学園研究室 発行所 株式会社 日本ヴォーグ社 ・講師作成の資料等を配布			
備考				

2021年度 専門課程 授業計画表

横浜デザイン学院

学科・専攻区分	ファッション科	授業科目名	表現技法Ⅱ映像	
担当教員	藤井 治子	年次	2	
		コマ数	4	124時間
担当教員経歴	和光大学卒業。印刷物、ロゴなどのグラフィック、写真撮影、WEBデザイン・構築、UI/UXデザイン、企業やサービス、商品ブランディングなど多くの制作物担当。WEBアプリ、スマートフォンアプリ、LINE@、タッチパネル機器へのプリセットデザイン、コーディングの経験も持つ。			
授業の概要	デザインの現場ではプロのカメラマンに依頼するだけでなく、デザイナーが撮影を担うケースが増えています。また近年においてはスマートフォンやタブレットの普及とカメラ機能の向上により、性能や技法を機器に頼らずに撮影できるようになりました。またSNSなどのデジタルメディアへの展開でスピード感も求められています。この授業では現場で求められる撮影の知識を学び、撮影した写真を加工、デザインに展開出来るようになることを目指します。			
到達目標	デジタルカメラやスマートフォンを活用した撮影事例、解像度やファイル形式などの基礎知識、基本的な構図を学び、Photoshopでの画像加工を習得、Illustratorでデザイン制作を展開していきます。またポートフォリオの作成にも挑戦します。			
授業方法	撮影スキル、構図と各媒体への展開スキルの習得、AdobeIllustrator、Photoshopの操作			
授業計画			コマ数	
導入	授業のねらい、イントロダクション			4
SNSと写真	SNSでのプロモーションを考える(Instagram)イントロダクション			4
	└コンセプトとターゲット			4
	└構図解説(座学)、絵コンテ			8
	└撮影・制作・発表			16
ポートフォリオ作成	ポートフォリオの作り方解説			4
	編集・加工演習 ①プランニング			4
	編集・加工演習 ②Illustratorでポートフォリオのテンプレートデザイン			8
	編集・加工演習 ③自分のポートフォリオ制作			12
	編集・加工演習 ④ポートフォリオの仕上げ・プレゼン			16
Photoshop 応用	編集・加工演習 ①レタッチ応用			4
	編集・加工演習 ②フィルタ加工等応用			4
	写真を加工した紙媒体デザイン制作・プレゼン			8
まとめ	画像データの管理方法			4
	様々な写真の配置・使い方演習 ①紙媒体			8
	様々な写真の配置・使い方演習 ②web(バナー)			8
	プレゼン演習・講評			8
成績評価の方法	出席率	課題/試験	修業力(授業全般)	修業力(企業課題/校外活動)
	30%	40%	30%	0%
教科書・参考書	特になし			
備考	なし			